

資料編

1. 国分寺市魅力ある商業振興プラン見直し検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 国分寺市魅力ある商業振興プラン(平成15年3月策定。以下「プラン」という。)の見直しについて意見交換等を行うために、国分寺市魅力ある商業振興プラン見直し検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について所掌する。

- (1) プランの見直しに関する事項
- (2) その他国分寺市の産業振興に関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員14人以内をもって組織する。

- (1) 公募により選出された市民 2人以内
- (2) 識見を有する者 2人以内
- (3) 国分寺市観光協会の推薦を受けた者 1人以内
- (4) 国分寺市商工会の推薦を受けた者 3人以内
- (5) 東京むさし農業協同組合の推薦を受けた者 1人以内
- (6) 市の職員 5人以内

(謝礼)

第4条 前条第2号から第5号までの委員に対し、謝礼を支払う。

(任期)

第5条 委員の任期は、委嘱の日から平成29年3月31日までとする。

(委員長及び副委員長)

第6条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 委員会は、委員長が招集し、委員長は、会議の議長となる。

(意見の聴取等)

第8条 委員長は、会議の運営上必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、市民生活部経済課において処理する。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、決裁の日から施行する。

2. 国分寺市魅力ある商業振興プラン見直し検討委員会委員名簿

職名	氏名	区分	所属等	備考
	太田 貴之	1号委員	市民公募	
◎	鈴木 恒雄	2号委員	識見(中小企業診断士)	
○	嵯峨 洋輔	2号委員	識見(多摩信用金庫)	
	亀田 祐司	3号委員	国分寺市観光協会推薦	
	神山 秀雄	4号委員	国分寺市商工会推薦	
	高橋 正典	4号委員	国分寺市商工会推薦	
	荒井 大介	4号委員	国分寺市商工会推薦	
	宮寺 正宜	5号委員	東京むさし農業協同組合推薦	
	小川 恵一郎	6号委員	国分寺市政策部市政戦略室長	平成28年2月1日 ～平成28年3月31日
	島崎 進一	6号委員	国分寺市政策部市政戦略室長	平成28年4月1日～
	上田 晴世	6号委員	国分寺市市民生活部 スポーツ振興課長	平成28年2月1日 ～平成28年3月31日
	千葉 昌恵	6号委員	国分寺市市民生活部 スポーツ振興課長	平成28年4月1日～
	細川 啓明	6号委員	国分寺市都市建設部都市企画課長	
	岡沢 法彦	6号委員	国分寺市都市開発部 国分寺駅周辺整備課長	
	島崎 進一	6号委員	国分寺市教育部ふるさと文化財課長	平成28年2月1日 ～平成28年3月31日
	高杉 強	6号委員	国分寺市教育部ふるさと文化財課長	平成28年4月1日～

◎:委員長

○:副委員長

任期:平成28年2月1日から平成29年3月31日

3. 国分寺市魅力ある商業振興プラン見直し検討委員会 協議経過

回	日時・場所	議題
第1回	平成28年2月1日(金) 午後3時～ 市役所第4庁舎2階会議室	1 市長挨拶 2 委員自己紹介・事務局紹介 3 正副委員長選出 4 国分寺市魅力ある商業振興プラン見直し検討委員会について 5 国分寺市魅力ある商業振興プランの概要について 6 国分寺市の産業等の現状について 7 意見交換 8 その他
第2回	平成28年3月23日(水) 午後3時30分～ 市役所第4庁舎2階会議室	1 商業振興プランの実施状況について 2 元気を出せ！商店街事業について 3 装飾街路灯に係る補助事業等について 4 産業競争力強化法に基づく創業支援について 5 その他の取組について 6 意見交換
第3回	平成28年5月30日(月) 午後3時～ 市役所プレハブ第1会議室	1 委員自己紹介・事務局紹介 2 平成28年度のスケジュールについて 3 アンケート調査について 4 その他
第4回	平成28年7月27日(水) 午後1時～ 市役所第1庁舎第3委員会室	1 団体ヒアリングについて 2 アンケート調査の結果について 3 統計分析について 4 その他
第5回	平成28年8月22日(月) 午後3時～ 市役所書庫棟会議室	1 施策体系の骨子について 2 団体ヒアリングの中間まとめについて 3 その他
第6回	平成28年9月12日(月) 午後1時～ 市役所第4庁舎2階会議室	1 計画のコンセプトと施策体系(案)について 2 団体ヒアリングの中間まとめについて 3 その他
第7回	平成28年10月7日(金) 午後3時～ 市役所第4庁舎2階会議室	1 団体ヒアリングのまとめについて 2 計画のコンセプトと施策体系(案)について 3 キャッチフレーズ(案)について 4 素案について 5 その他
第8回	平成28年11月7日(月) 午後1時～ 市役所書庫棟会議室	1 計画名とキャッチフレーズについて 2 計画のコンセプトと施策体系(案)について 3 素案について 4 その他
第9回	平成29年2月23日(木) 午後1時～ 市役所第4庁舎2階会議室	1 パブリック・コメントの結果について 2 国分寺市地域産業活性化プラン・概要版について 3 その他

4. 国分寺市地域産業活性化プランに係る調査概要

1. 国分寺市における買い物や地域活性化に関する市民アンケート

国分寺市民の日常的な消費行動やニーズを把握することで、市内における買い物環境の向上や地域経済の活性化のための基礎資料を得ることを目的として、「国分寺市における買い物や地域活性化に関する市民アンケート」を実施しました。

- 調査期間 平成28年6月22日(水)～7月6日(水)
- 対象 国分寺市内に住む20歳以上の男女
- 発送数 1,000件
- 回収数 396件
- 回収率 39.6%

2. 国分寺市における地域活性化に関する事業所アンケート

国分寺市商工会に加盟する事業者を対象として、組織・店舗、経営状況、今後の見込み・方針、地域経済活性化事業等への意識を把握することを目的として、「国分寺市における地域活性化に関する事業所アンケート」を実施しました。

- 調査期間 平成28年6月22日(水)～7月6日(水)
- 対象 国分寺市商工会に加盟する事業者
商業:建設業, 不動産業, 小売業, 飲食サービス業, 生活関連サービス業向け
製造業:製造業
- 発送数 1,147件(うち商業者1,056件, 製造業者91件)
- 回収数 508件(うち商業者464件, 製造業者44件)
- 回収率 44.2%

3. 団体ヒアリング

市内の団体や金融機関、大学等を対象として、客観的な視点から市内産業・地域経済の概況を聞くとともに、各団体・組織における地域経済活性化の取組を把握し、今後の施策・事業へとつなげることを目的として、ヒアリングを実施しました。

- 対象団体 国分寺市商工会事務局, 国分寺市商工会商業部会, 国分寺市商工会工業部会
国分寺市商工会建設部会, 国分寺市商工会青年部, 国分寺市商工会女性部
JA東京むさし国分寺支店, 国分寺市観光協会, 市内商店会
株式会社JR中央ラインモール(nonowa西国分寺)
合同会社西友国分寺店, JR東京西駅ビル開発株式会社(CELEO国分寺店)
株式会社日立製作所中央研究所, 西武信用金庫西国分寺支店
多摩信用金庫国分寺支店, 東京経済大学

5. 用語集

国分寺ブランド(p.1)

国分寺商工会, JA東京むさし国分寺支店, 国分寺市観光協会からなる国分寺ブランド協議会により, 市内で生産, 製品化された国分寺らしい商品をブランドとして認定する制度。

国分寺駅北口再開発事業(p.1)

国分寺駅に隣接するかたちで商業施設や住居, ホール等の公益施設が入る複合ビル2棟と, バスやタクシーのためのロータリーを備えた交通広場が設置される。

都市計画道路(p.1)

都市の骨格を形成し, 安心して安全な市民生活と機能的な都市活動を確保する, 都市交通における最も基幹的な都市施設として都市計画法に基づいて都市計画決定された道路。

地方創生(p.1)

地域の特徴を活かした自律的・持続的な経済活性化を図ることで, 東京への人口流入を是正し, 地方への人の流れをつくるとともに, 出産・子育てを支援することで人口減少を抑制し, 日本全体の活力を維持・創出しようとする一連の国の政策。

第三次国分寺市農業振興計画(p.2)

「都市と共生し豊かな市民生活を創る国分寺農業」を基本目標として, 農業経営の支援や農地の保全・活用, 市民と農のふれあい等, 10年間における国分寺農業に係る施策の方向性を示す計画(平成27年度策定)。

社会増減(p.4)

転入・転出による人口の増減。転入者数が転出者数を上回ると社会増となり, 転入者数が転出者数を下回ると社会減となる。

昼夜間人口比率(p.5)

自治体人口(夜間人口)から市外に通勤する人数を除き, 市外から通勤する人数を加えた人口を昼間人口という。昼夜間人口比率は, 夜間人口に対する昼間人口の比率。

商業統計(p.10)

商業を営む事業所について, 事業所数, 従業者数, 年間商品販売額等を把握し, 商業の実態を明らかにすることを目的とした調査。5年毎に実施される。

経済センサス(p.13)

事業所及び企業の経済活動を把握し, 国内の産業構造を把握するための調査。すべての事業所・企業を対象として5年毎に実施される。従業員数等の基本属性を調査する基礎調査と, 売上や設備投資等の経済活動を把握する活動調査がある。

労働生産性(p.13)

従業員一人当たりが生み出す付加価値額。労働者が成果を生み出す効率性の指標となる。

特許(p.13)

新規な発明を創作した者に対して, 特許庁が付与する独占権(特許権)及びその発明をいう。特許権を付与された発明は, 法的に保護され, 権利者が独占的に実施する権利を持つ。

地域経済分析システムRESAS(p.14)

地方自治体の様々な取組を情報面から支援するため, 国が提供する産業構造や人口動態, 人の流れ等のデータを集約し, 閲覧・分析できるシステム。

事業継承(p.19)

会社の経営を後継者に引き継ぐこと。親族ないしは従業員が継承するほか、吸収・買収等のM&Aによる方法がある。

地産地消(p.19)

地域で生産された農畜作物を地域で消費し、農業者と消費者の間に顔が見える関係をつくることで、食の安全・安心を得るとともに、地域の農業と関連作業の活性化を図ろうとする考え方。

武蔵国分寺跡(p.22)

天平13年(741年)に聖武天皇が鎮護国家を祈念して諸国に建立を命じた国分寺の遺跡。武蔵国は国府(現在の府中市)とともに、政治・文化の中心として栄えたが、鎌倉時代末期に戦で焼失した。しかし、全国の国分寺跡と比べても規模が大きく、その歴史的な重要性が認められ、大正11年に国史跡に指定された。

都立武蔵国分寺公園(p.22)

旧国鉄・鉄道学園跡地につくられた円形の芝生広場が特徴の都立公園。武蔵国分寺跡の北側に位置する。「国分寺まつり」や「ぶんぶんおーく」が毎年開催される。

東山道武蔵路跡(p.22)

7世紀後半から8世紀前半にかけて整備された都^{みやこ}と地方の国府を結ぶ七道(幹線道路)の一つ。都^{みやこ}から信濃国(現在の長野県)や上野国(現在の群馬県)を経由して東へ走る東山道本道から分岐して南下する道。

真姿の池湧水群(p.22)

野川の源流となる湧水のひとつ。平安時代、重い病を患った絶世の美女・玉造小町が国分寺薬師如来に祈願に訪れ、池で身を清めたところ、病が治癒し、元の美しい姿に戻ったという伝承から「真姿の池」と呼ばれる。

お鷹の道(p.22)

江戸時代に尾張徳川藩の御鷹場だったことに由来して「お鷹の道」と名付けられた散策道。四季折々の自然が楽しめる。

史跡の駅おたカフェ(p.22)

まちの駅の一つで、トイレのある無料休憩所兼案内所として、史跡武蔵国分寺跡に設置した。史跡や周辺の案内や国分寺の名産品の販売等を行う。

オープンスペース(p.26)

公園、広場、河川、農地等、建物によって覆われていない土地あるいは敷地内の空き地。

バイ・ローカル(p.28)

地元の商店で買うことで良質な商いを育て、地域の魅力を向上させるとともに、地域経済を維持・活性化しようとする考え方。

ローカルツーリズム(p.28)

寺社や伝統行事、自然環境、産業体験、地元の料理等、地域固有の資源を楽しみ、地元住民と交流する旅行の在り方。

農商工連携(p.30)

農林水産業者と商工業者がそれぞれの経営資源を持ち寄り、新商品・新サービスの開発等を行うことで相乗効果を得ようとする取組。

ストック(p.30)

不動産。空き家や空き店舗、高架下空間等を空間資源と捉えて活用する動きが見られる。

時間消費(p.31)

商品やサービスを消費・購入する場所に滞在する時間を楽しむ消費行動。

産業競争力強化法(p.33)

国内産業を中長期に渡る低迷から脱し、持続的発展を実現することで日本経済を再興させることを目的として、産業競争力の強化に向けた施策を総合的に推進するための法律。

創業支援事業計画(p.33)

自治体を中心となり、地域で連携する創業支援事業者とともに策定する事業計画。

パイロットスタディ(p.34)

研究や事業の初期段階で、試験的に同様の研究や事業を小規模に実施することで、求めている成果が得られるかどうかを確認する実験。実験結果に応じて計画が見直される。

シティプロモーション(p.34)

地域の魅力を内外に発信し、周知を図ることにより、地域住民においては地域への愛着を育み、市外に住む人には地域に対するイメージを向上させ、交流人口の増加や転入促進を図ろうとするPRの考え方。

サブカルチャー(p.35)

原義としては、クラシック音楽や伝統文化等に対する大衆的な文化を総称する言葉。日本では1970年代から80年代に都市に住む若者に支持されたポップスや演劇、漫画、アニメ等の広範な文化を指すようになり、現在に至る。

交通系ICカード(p.41)

SuicaやPASMO等、公共交通機関で運賃として利用できるICカード。

小口事業資金融資あっせん制度(p.43)

小規模事業者を対象として事業育成と振興を図るため、事業運営に必要な資金を有利な条件で利用できる融資。

エリアマネジメント組織(p.44)

地域における良好な環境や価値を維持・向上させる主体的な活動を行うことを目的とした、住民や地権者、事業者から構成される組織。

定性的評価(p.47)

統計的な数値では把握が難しい対象者個々の意見や感想、行動・反応等を収集・分析し、対象者における評価を見出す手法。主にヒアリングや行動観察で行われ、対象者個々を深く把握できる利点がある。

国分寺市地域産業活性化プラン

発行日 平成29年3月
発行 国分寺市
編集 市民生活部経済課
〒185-8501
東京都国分寺市戸倉1丁目6番地1
電話 042-325-0111(代表)

この冊子は再生紙を利用しています。



国分寺市